

■ 地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」とは

松本糸魚川連絡道路は、長野自動車道と北陸自動車道を連結することで高速道路を補完し、高速交通ネットワークの空白地域に、より高い走行サービスを提供する地域高規格道路*です。高速道路が80～100 km/h、国道147号（松本市～大町市）が約36 km/hに対して、概ね60 km/hのサービス速度を確保します。

- ※ 地域高規格道路とは、高規格幹線道路（高速道路）を補完し地域相互の交流促進等の役割を担う道路です
- ※ サービス速度とは、信号停止や渋滞等を含めた実際の平均走行速度です

▶ 高速道路のネットワークを補完

長野自動車道と北陸自動車道を連結
松本市と新潟県糸魚川市を結ぶ全長約100km（うち県内約80km）

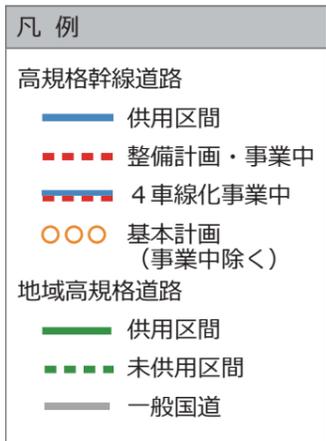
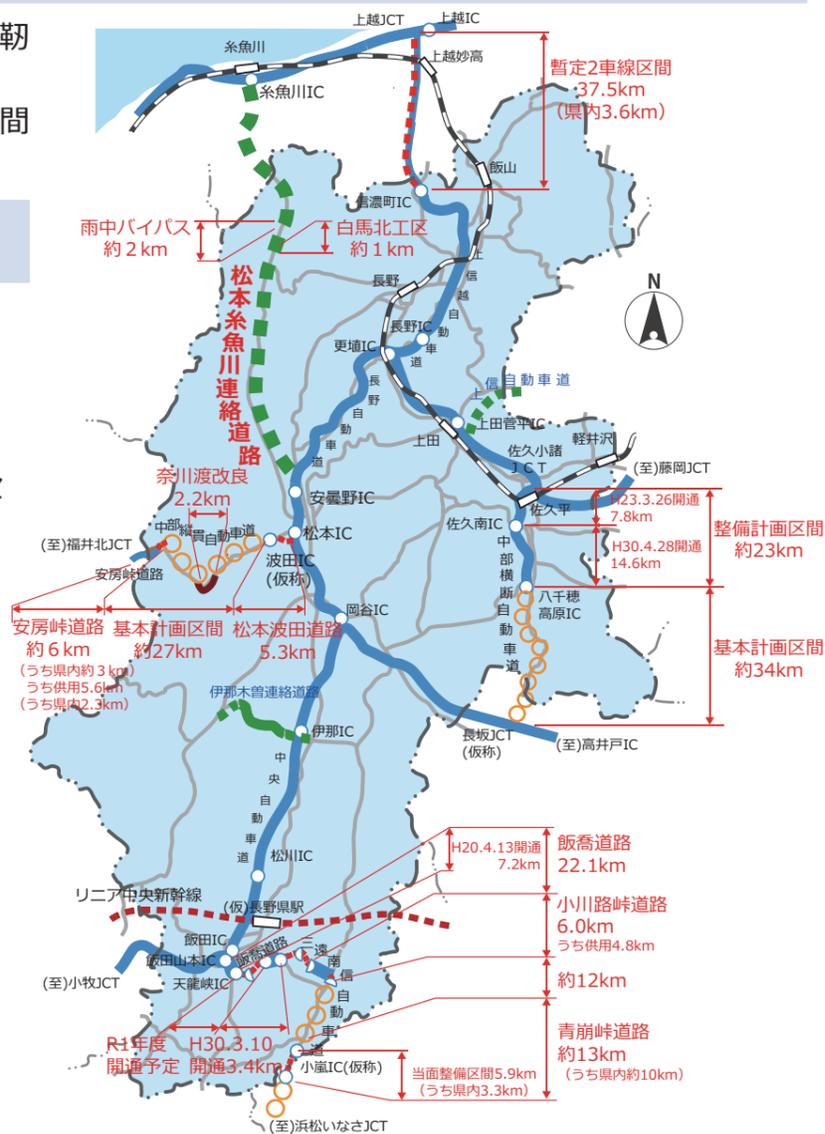
▶ 地域間を連結し、物資の流通、人の交流を活性化

高速性、定時性、安全性、代替性、強靱性の確保
松本市から糸魚川市までの移動時間を約40分短縮

▶ 高速交通ネットワークの空白地域の解消

松本糸魚川連絡道路の整備を始め、高速交通ネットワーク整備により県土の均衡ある発展を実現

高速交通ネットワークへのアクセス範囲が拡大



■ 松本糸魚川連絡道路の概要

起 終 点 : 長野県松本市～新潟県糸魚川市
概 算 延 長 : 約100km (長野県内約80km、新潟県内約20km)
サ ー ビ ス 速 度 : 概ね60 km/h
車 線 数 : 2車線以上

▶ 「本州中央部広域交流圏」の構築

高速交通ネットワークを最大限に活かした交流の拡大を実現

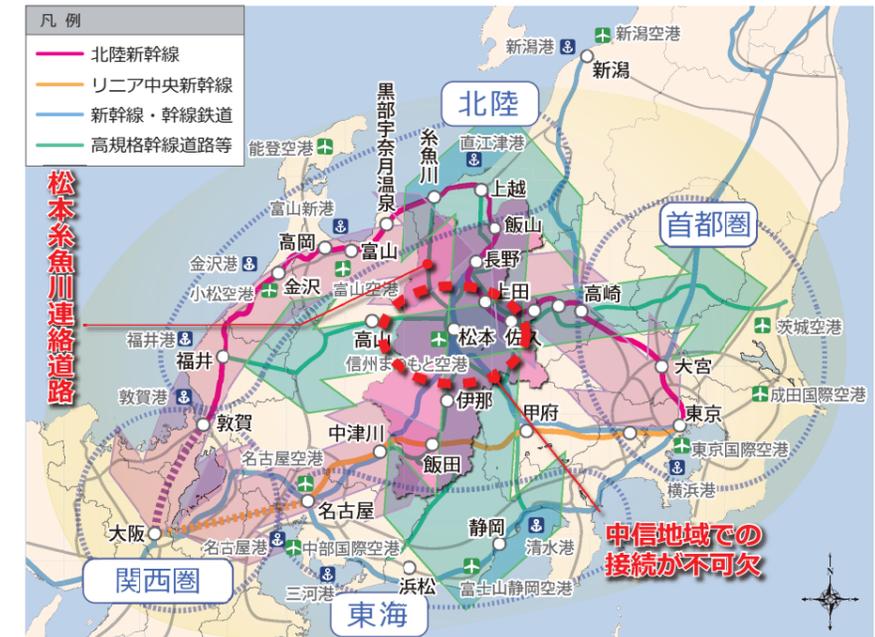
東西軸（周回型ネットワーク）

- ・北陸新幹線
- ・リニア中央新幹線 など

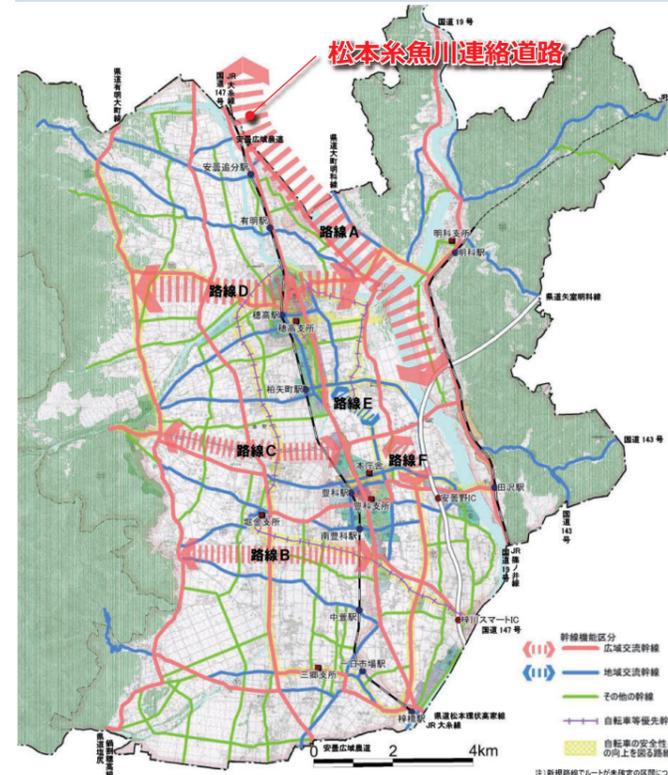
南北軸（多重的ネットワーク）

- ・中部横断自動車道
- ・三遠南信自動車道
- ・松本糸魚川連絡道路 など

県境を越えた人や物の大きな流動の創出が期待されます



▶ 安曇野市への期待される効果



- 中信と北陸地方との交流・連携の強化促進
- 地域産業の発展、広域観光の振興
- 大北地域、北陸地方への移動時間短縮、生活利便性の向上
- 安曇野IC～安曇橋南間等の周辺道路の渋滞緩和

産業の振興や観光など、交流促進に資する都市間の移動円滑化が期待されます